

令和2年度  
事業実績報告書

社会福祉法人 嘉手納町社会福祉協議会

# 目次

I. 法人運営部門	
1. 会務の運営並びに連絡調整	
(1) 理事会	1
(2) 評議員会	2
(3) 評議員選任・解任委員会	2
(4) 法人監事監査	2
(5) 町補助金交付団体監査	3
2. 役職員研修	
(1) 各種研修会への派遣	3
(2) 中部地区社会福祉協議会連絡協議会への協力・各種部会への参加	3
(3) 中部地区老人クラブ担当者研究会への参加	3
(4) 職員研修	3
3. 会員制度の強化と自主財源の確保	3
(1) 社協会費実績	3
(2) 寄付金実績	4
(3) コロナ支援とした物品寄贈受付	4
4. 総合福祉センターの運営管理	4
5. 相談援助実習生の受入れ	4
II. 地域福祉活動推進部門	
1. 福祉でまちづくり機能	
(1) 各種社会福祉関係諸団体支援事業	4
(2) 福祉団体合同新年会「初春の集い」	4
(3) 福祉団体連絡会議	4
(4) 生きがいデイサービス交流会	5
(5) 心配ごと相談所の運営	5
(6) 広報啓発活動	5
(7) 赤い羽根共同募金運動	5
(8) 歳末たすけあい募金運動	6
(9) 福祉バスの運行	6
(10) コミュニティソーシャルワーク(CSW)事業	6
① 個別支援	
② 地域支援(小地域福祉活動)	
③ かでな安心キット事業(緊急医療情報キット)	
④ 地域見守り協力活動	
⑤ 朝ごはん応援隊	
⑥ 各種会議等への参加	
(11) 地域生活支援事業(町受託事業)	9
① 理解促進研修・啓発事業	
② 自発的活動支援事業	
③ 成年後見制度法人後見支援事業	
④ スポーツ・レクリエーション教室開催等(社会参加支援)	
⑤ 文化芸術活動振興(社会参加支援)	
⑥ 声の広報等発行事業	

(12) 生活支援体制整備事業（町受託事業）	10
① ワーキンググループの開催	
② ちょこっとお助けゆいまーる事業（有償の支え合い活動）への取り組み	
③ つどい・交流の場×移動販売	
④ 研究会しんぶんの発行	
⑤ ちょいまーる通信の発行	
(13) 食料支援事業	11
2. 福祉活動推進事業	
(1) 児童・青少年福祉事業	11
① 第26回比謝川鯉のぼりフェスタ	
② 制服リサイクル事業	
③ 小学生ヒップホップダンス事業	
④ 中学生アクロバット事業	
(2) 老人福祉事業	12
① ふれあい訪問事業	
② ふれあい訪問ボランティア視察研修	
③ 嘉手納町社会福祉協議会いきいきサロン（社協サロン）	
④ 地域高齢者見守り元気アップ事業	
(3) 母子・父子福祉事業	12
① 嘉手納町母子寡婦福祉会・NPO運営支援	
3. 社会福祉施設（福祉サービス事業者）支援協働機能	
(1) 嘉手納町地域活動支援センターていんがーらの運営（受託事業）	12
4. ボランティアセンター（ボランティア活動支援）	
(1) 福祉教育の推進	13
① 福祉教育協力校	
② 福祉教育推進助成事業	
③ 小学生ボランティアサマースクール	
④ いもっ子サマースクール（読谷村社協共催）	
(2) 学校・一般団体・企業への体験学習・研修への支援	13
(3) ボランティア支援事業	13
① 声のお便りサービス（地域生活支援事業参照）	
② ボランティア広報誌	
③ ボランティア養成講座	
④ ボランティア保険への加入促進	
⑤ 24時間テレビ募金活動	
⑥ 一人暮らし高齢者宅清掃活動	
(4) ボランティア団体助成事業	14
(5) ボランティア活動拠点整備	14
III. 福祉サービス利用支援部門	
1. 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）	14
2. 生活福祉資金貸付事業	14
IV. 在宅福祉サービス部門	
1. 高齢者等食の自立支援事業（配食サービス・町受託事業）	15
2. 地域介護予防活動支援事業（ミニデイサービス・町受託事業）	15
3. 介護用品貸与事業	16

- 4. 放課後等デイサービス事業所の運営（わくわくクラブあすなろ） ..... 16
- 5. 児童発達支援事業所の運営（わくわくクラブあすなろ） ..... 16

# 令和2年度 事業実績報告書

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため本会においても事業の延期や中止が相次ぎ、実施した事業においては感染症対策を取りながら、これまでにはない環境での取り組みとなりました。

法人運営部門では、感染拡大防止のため評議員会を2度の書面議決、総合福祉センターの運営管理は、緊急事態宣言中のサークルや一般貸出の休止などから、利用状況が大幅に減少しました。職員の研修については、コロナの影響によりさまざまな研修が中止となる中で、全国研修などがオンライン研修での実施となったため、受講のために必要な環境整備を行い、学びの機会を維持し、資質の向上に努めました。自主財源の確保では、経済状況の厳しい中、社協会員、戸別会員等については、町民や企業、各区自治会の協力を得て前年度実績を超える実績を上げております。

地域福祉活動推進部門では、コミュニティソーシャルワーク事業で、西区において小地域福祉活動の組織化へ向けてさまざまなアプローチを行い、令和1年7月には「組織化へ向けた準備委員会」の立ち上げ、そして令和2年10月「西区ささえ愛たい」の結成に至りました。今後も西区での活動が期待されるもので、CSWrも継続した活動のサポートを続けてまいります。

新たに小中学校の不登校などの生徒を対象とした「朝ごはん応援隊」事業を教育委員会と協働し、児童生徒の支援事業として開始しました。生活支援整備体制事業では、「有償の支えあい活動」への取り組みとして、担い手のための養成講座を実施し、事業スタートへの準備を進めております。

福祉サービス利用支援部門では、コロナの影響により収入が減少した方への支援事業として実施されている生活福祉資金の特例貸付への対応を行いました。本町においても604件の申請となり、その中には金銭面以外でも課題を抱える方もおり、今後の支援のあり方が課題となっています。高齢者の健康と生きがいづくりを目的とした、ミニデイサービス事業は、高齢者とボランティアの感染防止の観点から中止となりましたが、その間、担当職員とボランティアが連携しながら、訪問や電話等での見守り・声掛けを行い、休止中でもつながりを大切に活動が推進されました。

令和2年度においては、集い・交流の場をはじめとするさまざまな事業・活動が中止となり、また外出自粛の日々を過ごす中で改めて地域とのつながりの大切さを感じました。今後はこの貴重な経験を活かしながら、これからの地域のあり方を考える中で、「いつでも誰かとゆるやかにつながっているまち」をスローガンとして、必要なさまざまな取り組みを行っていきたいと考えます。

以下、令和2年度における社協事業を報告します。

## I. 法人運営部門

### 1. 会務の運営並びに連絡調整

#### (1) 理事会【全3回】

回数 日時	出席	議案(報告)	会場
第1回 R2 6/12 17:00	理事 8 (欠1) 監事 2	<ul style="list-style-type: none"><li>令和元年度事業実績報告について</li><li>令和元年度資金収支決算について</li><li>評議員の補充選任について</li><li>評議員選任・解任委員会委員の選任について</li><li>令和2年度定時評議員会の開催について</li><li>(報告)社協会長の職務の執行状況について</li></ul>	嘉手納町 総合福祉センター 3階研修室

回数 日時	出席	議案(報告)	会場
第2回 R3 1/27 15:00	理事 8 (欠 1) 監事 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活福祉資金特例貸付業務特別手当の支給に関する規程(案)について</li> <li>令和2年度資金収支補正予算(案)について</li> <li>障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業所及び児童福祉法に基づく障害児相談支援事業所の指定申請について</li> <li>嘉手納町社会福祉協議会定款の追加変更について</li> <li>令和2年度第2回評議員会の開催について</li> <li>(報告)社協会長の業務執行状況について</li> </ul>	嘉手納町 総合福祉センター 4階中会議室
第3回 3/22 17:00	理事 7 (欠 2) 監事 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度資金収支補正予算(第2次)(案)について</li> <li>令和3年度事業計画(案)について</li> <li>令和3年度資金収支予算(案)について</li> <li>就業規則の改正について</li> <li>嘉手納町社会福祉協議会福祉基金の一部改正について</li> <li>嘉手納町社会福祉協議会財政調整積立基金設置規程の制定について</li> <li>令和3年度第3回評議員会の開催日時・場所及び議事に付すべき事項について</li> <li>(報告)社協会長の職務の執行状況について</li> </ul>	嘉手納町 総合福祉センター 4階中会議室

## (2) 評議員会【全3回】

日時 回数	出席者 (出席/総数)	議案(報告)	会場
第1回 R2 6/29	20/20	<u>※感染症拡大防止のため書面決議</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度事業実績報告について</li> <li>令和元年度資金収支決算について</li> </ul>	—
第2回 R3 2/19	20/20	<u>※感染症拡大防止のため書面決議</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度資金収支補正予算(案)について</li> <li>障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業所及び児童福祉法に基づく障害児相談支援事業所の指定申請について</li> <li>嘉手納町社会福祉協議会定款の追加変更について</li> </ul>	—
R3 3/30	19/20 会長・副会長 監事 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度資金収支補正予算(第2次)(案)について</li> <li>令和3年度事業計画(案)について</li> <li>令和3年度資金収支予算(案)について</li> <li>規程の一部改正について</li> </ul>	嘉手納町 ロータリープラザ 2階ホール

## (3) 評議員選任・解任委員会

回数	期日	出席者 出席/総数	会場
第1回	6/16	3/3	嘉手納町総合福祉センター4階会議室

## (4) 法人監事監査

日時	内容	会場
6/2 13:30	令和元年度決算監査	嘉手納町総合福祉センター4階心配ごと相談室

(5) 町補助金交付団体監査

日時	内容	会場
7/2 13:30	令和元年度決算監査	嘉手納町総合福祉センター4階中会議室

2. 役職員研修

役職員の資質向上を図る為、職員研修の実施、各種研修会への派遣、また中部地区社会福祉協議会連絡協議会の各部会等へ職員を派遣し、職員の資質向上を図った。

- (1) 各種研修会への派遣
- (2) 中部地区社会福祉協議会連絡協議会への協力、各種部会への参加
- (3) 中部地区老人クラブ担当者研究会への参加
- (4) 人材育成事業

期日	テーマ	講師
5/28～6/2	第1回個別面談	幸喜穂乃氏 (合同会社 Happy Joy)
7/9	第1回全体研修 With コロナ、ポストコロナに立ち向かう	
10/28	第2回全体研修 SDGsを理解する	
11/30～12/10	第2回個別面談	
年4回	予防的面談（必要に応じた職員へ実施）	
年2回	コンサルティング（事務局等、両係長へ実施）	

3. 会員制度の強化と自主財源の確保

社協の自主財源確保のため、戸別会員・賛助会員・特別会員を募集し、町民の協力により次の実績を上げた。

(1) 社協会費実績

令和2年度実績 1,891,500円（前年比 26,500円）

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
戸別会員	1,527,500円 (3,055件)	1,451,000円 (2,902件)	1,496,500円 (2,993件)
賛助会員	69,000円 (50件・69口)	94,000円 (65件・94口)	99,000円 (70件・99口)
特別会員	295,000円 (37件・59口)	320,000円 (40件・64口)	365,000円 (43件・73口)
計	1,891,500円	1,865,000円	1,960,500円

・戸別会費内訳

	東区	中央区	北区	南区	西区	西浜区	合計
世帯数(件)	753	407	323	387	439	746	3,055
前年比(件)	46	36	31	77	20	△57	153
金額(円)	376,500	203,500	161,500	193,500	219,500	373,000	1,527,500
前年比(円)	23,000	18,000	15,500	38,500	10,000	△28,500	76,500

(2) 寄付金実績

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
件数	31	28	36
金額(円)	4,943,000	6,018,848	7,081,425

(3) コロナ支援とした物品寄贈受付

- ・ 沖縄ヤクルト：乳飲料の寄贈及び食料品の寄贈
- ・ (有)昭和事務機社：マスク寄贈 (500枚)
- ・ (有)ネイチャートレール・(株)ブルーフィールド：マスク寄贈 (2,000枚)

4. 総合福祉センターの運営管理

町内福祉団体・町各種検診・事業を中心に、町民の福祉向上と健康増進を推進するため、効果的・効率的な運営を実施した。

・ 総合福祉センターの利用状況

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用回数(回)	963	1,575	1,431
利用者数(名)	10,325	22,386	19,063

5. 相談援助実習生の受入れ

地域社会が求める社会福祉士の人材育成へと貢献すべく、公的責任も帯びている社会福祉協議会として県内学校の24日間(180時間)の実習受入を行う。

実習生 (計2名)	琉球リハビリテーション学院	1名
	沖縄統合医療学院	1名

II. 地域福祉活動推進部門

住民参加や協働による福祉活動の支援など、地域福祉推進の為に体制強化と事業の推進を図った。

1. 福祉でまちづくり機能

(1) 各種社会福祉関係諸団体支援事業

福祉団体への助成や活動への支援を行い、団体の基盤強化と自主運営を支援した。

(共同募金の配分金より一部助成)

福祉団体名	助成額	備考
嘉手納町老人クラブ連合会	0円	共募配分事業未執行により280,000円返金
嘉手納町障がい福祉協会	300,000円	
嘉手納町精神療養者家族会	200,000円	
嘉手納町民生委員児童委員協議会	200,000円	共募配分事業未執行により100,000円返金
NPO法人 嘉手納町母子寡婦福祉会	84,000円	
合計	784,000円	

(2) 福祉団体合同新年会「初春の集い」

※新型コロナウイルス感染症拡大防止による活動自粛のため実施なし。

(3) 福祉団体連絡会議

日時	参加団体	議題	会場
12/4 16:00	6団体	・ 令和元年度福祉団体合同新年会 第35回「初春の集い」 決算報告	嘉手納町 総合福祉センター



日時	参加団体	議題	会場
		・令和2年度福祉団体合同新年会 第36回「初春の集い」の開催について ・令和2年度共同募金配分金について	3階研修室

(4) 生きがいデイサービス交流会

※コロナウイルス感染症拡大防止による活動自粛のため実施なし。

(5) 心配ごと相談所の運営

第2・4金曜日の弁護士相談を継続し、町民の日常生活上の法律に関わる相談に対応し、適切な助言や援助を行い町民の福祉の向上を図った。

開設日：第2・4金曜日 午後1時～午後5時（完全予約制）

場 所：総合福祉センター3階会議室

相談員：弁護士4名

開設日：19日（コロナの影響により4月は中止）

相談件数：47件

相談内容

相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
生 計	2	職業・生業	0	住 宅	4
家 族	1	離 婚	6	医 療	0
人権・法律	8	財 産	23	年 金	1
苦 情	0	精神・衛生	0	心身障害者(児)・福祉	0
事 故	0	健康・衛生	0	その他	2
				合計	47

(6) 広報啓発活動

社協広報誌の発行を年3回から年4回へ増やすとともに、町広報等への掲載を通して町民へ社協活動のPRを図った。またインターネットを活用し、新たな町民へのPR方法を構築した。

① 社協だよりの発行（7月・10月・1月・3月：年4回）

② 町広報紙の紙面活用

③ 嘉手納町社協 web サイトの運営【<https://www.kadena-shako.com/>】

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
訪問者数	6,164	7,998	6,981
ページビュー	13,146	35,060	27,894

④ Facebook ページの運営【<https://www.facebook.com/kadena.shakyo/>】

⑤ LINE 公式アカウントの運営

(7) 赤い羽根共同募金運動

社協の福祉事業の財源となる赤い羽根共同募金運動の募金活動を自治会、民生委員の協力のもと実施した。

募金目標額	募金実績額	達成率
3,575,000円	3,107,867円	86.9%

期 間：令和2年10月1日～令和3年3月31日

募金内容：戸別募金、職域募金、法人募金、個人大口募金、学校募金

募金内訳（3,226件・3,107,867円）

募金別	法人募金	職域募金	戸別募金	個人募金	学校募金	その他	合計
件数	51	41	3,058	54	2	20	3,226
金額	709,000	398,890	1,529,000	380,377	58,324	32,276	3,107,867

(8) 歳末たすけあい募金運動

歳末において募金活動を実施し、困窮世帯への義援金の支給と一人暮らし高齢者への物品の支給を通して、歳末におけるたすけあい運動を地域の協力のもと実施した。

また、歳末たすけあい募金の財源を活用し、生活困窮者への支援のための食料品の購入およびコロナウイルス感染症拡大防止による学校休校で、欠食となっている児童への食事を届けるための食材を購入した。

歳末たすけあい募金運動目標額および実績額

募金目標額	募金実績額	達成率	募金期間
1,000,000 円	884,757 円	88.47%	令和2年12月1日～12月31日

募金内訳 (3,098 件・884,757 円)

募金別	戸別募金	職域募金	合計
件数	3,059	39	3,098
金額	611,800	272,957	884,757

配分総額：1,491,884 円

事業名	金額(円)	備考
歳末たすけあい義援金支給	549,000	41 世帯
歳末たすけあい物品支給	52,500	35 件
臨時休校中児童の欠食防止と見守り	6,327	
生活困窮者への食糧支援	98,417	
ひとり親世帯への食料品配布	293,540	97 世帯
福祉団体へのマスク配布 ※1	490,000	1250 名 (10 枚/人)
高齢者世帯環境美化整備活動 ※2	2,100	6 世帯
計	1,491,884	

※1 (有)ネイチャートレール、(株)ブルーフィールド様よりのマスク寄贈 (2,000 枚) と合わせて支給

※2 かでな振興(株)様が、草刈り・樹木剪定作業を無償で協力 (作業日 3 日)

(9) 福祉バスの運行

町内各種福祉団体等を中心に、福祉バスの運行を実施し活動支援を行った。

利用内訳 ※ ( ) は前年度実績

利用団体	利用回数	人数
福祉団体	20 (67)	190 (1,496)
ボランティア団体	0 (0)	0 (0)
行政関係・行政委員会	8 (12)	301 (707)
議会関係	0 (0)	0 (0)
学校教育関係	10 (29)	258 (1,529)
町内各種団体	3 (19)	43 (459)
産業関係団体	2 (2)	22 (35)
その他公的団体	1 (4)	15 (70)
合計	44 (133)	829 (4,296)

(10) コミュニティソーシャルワーク(CSW)事業

嘉手納町地域福祉推進計画に位置付けられているコミュニティソーシャルワーク事業において、コミュニティソーシャルワーカーを担当圏域ごとに2名配置。個別支援の充実、小地域福祉活動事業の展開、生活支援体制整備事業および障害者地域生活支援事業との連携を目指して実施

した。

① 個別支援

生活福祉資金特例貸付をきっかけに個別の関わりとなったケースもあり、金銭面に加えて就労や住居の問題などの相談に応じた。また、なかゆくい広場や集合住宅での移動販売などでの継続した関わりから、身近な相談窓口として普段の暮らしの変化や困りごと等を聞き、支援した。

今年度より竹藤登氏をアドバイザーにケース検討会を実施。関係機関も参加し、さらなる連携を深める機会となった。

年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
相談件数	1282件	1256件	1178件	322件	679件

※平成29年度については1名欠員

② 地域支援（小地域福祉活動）

今年度も南区地域見守り隊・北区見守り隊・東区見守り隊への継続的支援を行う。西区においては、昨年度からの継続的な関わりにより、“西区ささえ愛たい”が結成される。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定例会等が中止・延期となる状況ではあったが、それぞれの区において、“いま出来ること”を考え続けた一年であった。

名称	支援開始月	内容
南区地域見守り隊	H25年12月	集まらない中でも隊員同士のつながりを感じてもらえるよう、“見守りたい通信”を発行する。
北区見守り隊	H27年11月	“隊員同士のつながりこそ大切に”を意図し、定例での集まりを継続して持つことができる。
東区見守り隊	H28年3月	これまで行ってきた訪問での見守り活動が行えない中で、往復はがきを活用した聞き取りや新年のあいさつ（年賀チラシ）を配布するなど、新たな見守り安否確認を模索する。
西区ささえ愛たい	R1年7月	今年度より結成。コロナ禍においても積極的に活動し、気になる方とその隣近所を対象としたチラシ配布訪問活動などを行う。

◇小地域福祉活動フォーラム

コロナ禍の状況を踏まえ、参加者を各世代の代表者に絞った形で開催。アドバイザーの菱沼氏と会場をZoomで繋ぎ、リフレクティングという手法（対話から生まれる気づきを意図した話し合い）で話し合いを行う。

各世代の代表者に参加していただいたことで、新たな発見や世代によつての違いを感じた。さらに、社会は人のつながりで動いていた。オンラインは一つの手法であり、あまり頼りすぎないように。思いを共有する場【ゆんたくひんたく】が大切。ということに参加者で共有し、考えることが出来た。

テーマ：コロナ禍のいま、嘉手納にこんな“つながり”あったらいいな～

目的：コロナ禍のいま、様々な場面において、これまでとは違う生活を送らなければならなくなり、人とのつながりにおいては、世代を問わず何かしらの変化があったと考えられる。このような状況を踏まえ、コロナ禍での変化を各世代の代表者で話し合い、世代ごとの同じ・違いを共有しながら、改めてつながりの大切さを考える機会にすることを目的に開催。

会場：嘉手納町総合福祉センター 4階中会議室

日時	参加者	内容	講師
9/30 19:30～2100	8名	1. 参加者同士の話し合い・リフレクティング（対話から生まれる気づきを意図した話し合い） 2. 総評 3. 振り返り	ファシリテーター：諸留将人氏 アドバイザー（総評）：菱沼 幹男氏 （日本社会事業大学社会福祉学部） グラフィックレコーダー：宮道 喜一氏 （まちなか研究所わくわく 事務局長）

③ かでな安心キット事業（緊急医療情報キット）

新型コロナウイルス感染症による業務内容の変化や増加を受け、例年と同様に更新作業を行うことは難しい1年であった。一方で、自治会や民生委員、関係機関等と連携や小地域福祉活動への継続支援から新規設置につながるケースもあった。

年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
申請	25	30	47	37	37
設置	17	48	25	37	39
中止	26	29	32	9	61
更新	5	82	116	92	92
設置件数	284	296	276	297	251

④ 地域見守り協力活動

締結先事業所からの「郵便物が溜まっている」という情報をもとに、安否確認を行う事例がある。今後も住民が安心して暮らせる地域づくりを目指して、より多くの事業者と地域見守り協力活動に関する協定の締結を行い、町内における見守り活動を推進していく。

【締結状況（13事業所と協定締結）】

<令和2年度協定締結先>

なし

○協力活動締結先事業所一覧○

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1. 日本郵便株式会社沖縄郵便局     | 2. 琉球新報屋良販売店      |
| 3. 琉球新報嘉手納南販売店       | 4. 琉球新報水釜販売店      |
| 5. 沖縄タイムス嘉手納屋良販売店    | 6. 沖縄タイムス水釜第一販売店  |
| 7. 沖縄タイムス水釜第二販売店     | 8. 嘉手納町上下水道課      |
| 9. 株式会社比謝川タクシー       | 10. 比謝川ガス株式会社     |
| 11. 沖縄ヤクルト株式会社読谷センター | 12. 生活協同組合コープおきなわ |
| 13. 社会福祉法人 幸仁会 比謝川の里 |                   |

⑤ 朝ごはん応援隊

子ども支援について関係機関と話し合いを行う中で、不登校や登校しぶり等の子ども達を対象として本事業がスタートする。自宅と学校以外の居場所、同世代や家族以外の大人と関わる機会になることを目的とし、町教育委員会配置の子ども支援コーディネーターと協働し事業を実施した。

実施日時	毎週火曜日 ※変更あり
実施回数	32回（令和2年7月より）
参加人数	12名（延べ164名）
実施に向けた会議 および月のふり返り	12回

⑥ 各種会議等への参加

- ・嘉手納町障害者自立支援協議会 相談支援部会（6回）
- ・嘉手納町障害者自立支援協議会 相談支援部会 地域移行ワーキング 勉強会（1回）
- ・要保護児童対策地域協議会（児童虐待・養護部会2回、不登校・非行部会2回）
- ・ケース会議の実施（1回）及び参加（7回）
- ・法人研修 法律の勉強会（2回）
- ・法人研修 ケース検討会（2回、内1回は事例提供）
- ・令和2年度地域福祉コーディネーターリーダー研修会

- ・第7回生活困窮者自立支援全国研究交流大会
- ・社会福祉協議会活動全国会議「コロナ禍での地域活動」

(11) 地域生活支援事業（町受託事業）

障がい者がその有する能力及び適正に応じて、自立した日常生活又は社会生活を送るために必要なサービスや情報を提供し、障がい者の自立と社会参加を支援した。

① 理解促進研修・啓発事業

- ・障害者週間に伴うイベント（障害者週間パネル展）

期日	内容	場所
12/7~12/17	障害者地域生活支援事業の紹介パネルを作成し展示を行った。	嘉手納町役場 1階エントランスホール

・ペアレントトレーニング講座（全8回）

回数	期日	内容	参加者	講師	会場
第1回	10/12	プログラム全体のオリエンテーション	5名	岡崎綾子氏	嘉手納町 総合福祉センター 4階中会議室
第2回	10/26	子どもの行動の観察と理解	4名		
第3回	11/9	子どもの行動への良い注目のしかたと3つの行動タイプ分け	5名		
第4回	12/14	前半ふりかえりと親子タイム	5名		
第5回	1/12	子どもが従いやすい指示の出し方	4名		
第6回	1/25	上手な注目のはずし（無視）の仕方（ほめるために注目を外す）	4名		
第7回	2/1	トークン表（めあて表）と限界設定	4名		
第8回	2/15	全体のふりかえり	4名		

② 自発的活動支援事業

- ・ゆんたく会の開催（計3回）

回数	期日	内容	参加者
第1回	7/17	カフェでゆんたく	4名
第2回	10/24	ペアレントトレーニングを知ろう	3名
第3回	12/26	盛花を作ろう	10名

③ 成年後見制度法人後見支援事業

- ・研修会（講師：竹藤登氏〔沖縄県社会福祉士会顧問〕）

期日	内容	参加者	場所
2/3	・権利擁護支援の地域連携ネットワークの必要性について ・地域連携ネットワークの役割と機能 ・なぜネットワークは必要なのか	町福祉課3名 社協5名	嘉手納町役場 地下展示室

④ スポーツ・レクリエーション教室開催等（社会参加支援）

※コロナウイルス感染症拡大防止による活動自粛のため実施できず。

⑤ 文化芸術活動振興（社会参加支援）

- ・アフリカの太鼓『ジャンベ』（計10回）

講師：gajako・masato（諸留華英・将人）

回数	期日	参加者	会場
第1回	6/27	10名	嘉手納町スポーツドーム
第2回	7/11	8名	
第3回	7/18	23名	嘉手納町総合福祉センター大集会室
第4回	9/19	26名	嘉手納町兼久体育館
第5回	10/3	13名	嘉手納町スポーツドーム
第6回	10/31	17名	
第7回	11/28	15名	
第8回	1/16	10名	
第9回	3/20	15名	
第10回	3/27	10名	

※8/15, 12/5, 12/19, 1/23, 2/6 コロナの影響により中止

・ジャンベ動画配信（1回）

動画を作成し、YouTubeチャンネルにて動画を配信した。

⑥ 声の広報等発行事業

対象者：3名

録音回数：15回

発行本数：40本

内容：町広報誌、新聞記事、その他

朗読ボランティア：リーディングサービスあいあい5名

郵送の方法：嘉手納郵便局の協力による無料郵送

(12) 生活支援体制整備事業（町受託事業）

単身や夫婦世帯のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療、介護サービス提供のみならず、町が中心となって、生活支援サービスを担う多様な事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていく。

① ワーキンググループの開催（1回）

期日	内容	会場
9/18	ちょこっとお助けゆいまーる事業の今年度の取り組みについて	嘉手納町総合福祉センター会議室

② ちょこっとお助けゆいまーる事業（有償の支え合い活動）への取り組み

・担い手アンケートへの回答：86件

・担い手としての活動が可能と回答した方：76名

・お助け会員登録数：26名（男性10名、女性16名）

お助け会員養成講座の開催

期日	内容	講師	参加者	場所
10/16	コミュニケーション講座	Happy Joy 代表 幸喜穂乃氏	36名 (昼・夜開催)	嘉手納町 ロータリープラザ
11/20	お掃除講座	ダスキン美里支店	16名	
11/26	認知症サポーター養成講座	(福)幸仁会 比謝川の里 地域支援課長 玉城竜一氏	13名	

## プレ実施

日時	内容
3/24(水) 10:00~11:00	自宅の窓と網戸の掃除 (2 か所)

### ③ つどい・交流の場×移動販売

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、つどい・交流の場への取り組みを進めることは難しかった。コロナ禍だからこそ、移動販売への必要性は高まっているが、様々な制限もある中、利用される方々の減少も見られるなどの課題があった。

移動販売場所	実施日
県営嘉手納高層住宅 (北区)	毎週水曜 14:30~15:00
屋良町営住宅 (東区)	毎週水曜 15:00~15:25
なかゆくい広場 (中央区コミュニティセンター)	毎週水曜 15:30~16:00

### ④ 研究会しんぶんの発行 (5月・12月・3月)

### ⑤ ちょいまーる通信の発行 (9月・12月・3月)

## (13) 食料支援事業

生活困窮者への支援として社協から食料支援を行う。また、そのための食料寄付も社協が受付し、フードバンクセカンドハーベスト沖縄からの食料寄付もいただく。

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	備考
食料支援	37回	39回	28回	1回につき10日分、再支給は1か月後を目安とする
食料寄付受付	10回	25回	29回	社協にて随時受付、町内の食料支援を行う。

## 2. 福祉活動推進事業

### (1) 児童・青少年福祉事業

#### ① 第26回比謝川鯉のぼりフェスタ

※新型コロナウイルス蔓延防止のため中止。

#### ② 制服リサイクル事業

町内の小・中・高校の不要になった制服を寄贈していただき、必要としている方へ無償で提供を行うことにより、制服のリサイクルを図る。

年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
寄贈件数	33件	20件	26件
提供件数	67件	48件	51件

#### ③ 小学生ヒップホップダンス事業

町内の児童を対象としたダンス教室を開催し、児童の心身の健全育成および異年齢の交流を図った。学校からの福祉バスによる送迎支援をおこなうことで、送迎をすることができない共働き等の保護者支援も目的とした。

実施回数：7回 (令和3年2月15日~3月29日・毎週月曜日)

対象者：町内小学校児童 (1年生~6年生)

参加者：14名 (屋良小4名、嘉手納小10名)

事業協力：Kadena Performance Arts Studio (KPAS)

#### ④ 中学生アクロバット事業

町内の生徒を対象としたアクロバット教室を開催し、生徒の心身の健全育成および地域内での居場所づくりの支援を目的に実施した。

実施回数：7回 (令和3年2月15日~3月29日・毎週月曜日)

対象者：町内中学校生徒 (1年生~3年生)

参加者：4名

事業協力：Kadena Performance Arts Studio (KPAS)

(2) 老人福祉事業

在宅の高齢者や一人暮らし老人等が、要介護状態にならないための生きがい活動支援をすることにより、安否の確認や高齢者の自立と生活の質の向上を目的に実施した。

① ふれあい訪問事業

年度	令和2年度	令和元年度
ボランティア	24名・1団体	19名・1団体
利用登録者	49名	36名
実施回数	36回	49回
年間訪問件数	1,372回	1,201回

利用者状況

区別	東区	中央区	北区	南区	西区	西浜区	合計
新規利用	3	2	12	2	0	0	19
利用終了	2	1	1	0	0	3	7
登録者	11(9)	15(14)	14(3)	7(5)	2(2)	0(3)	49(36)

(令和3年3月末現在)

② ふれあい訪問ボランティア視察研修

※新型コロナウイルス感染症拡大防止による活動自粛のため実施できず。

③ 嘉手納町社会福祉協議会いきいきサロン（社協サロン）

制度や事業の狭間にあり、閉じこもりがちな高齢者の方々を対象に、新たな社会参加の場を提供し、仲間づくりの場、孤立感の解消、地域の見守り、閉じこもりの防止、介護予防、健康づくりを目的して実施する。

実施日：毎月第1月曜日（8回実施）※新型コロナウイルスの影響により中止あり。

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
延べ利用者数	41名	51名	51名
登録利用者数	8名	8名	6名
延べボランティア者数	47名	58名	91名

④ 地域高齢者見守り元気アップ事業

コロナ禍で自宅での自粛生活を送っている高齢者を対象として、花の苗を提供し、毎日の水やりなどで育てる楽しみや生きがいづくりにつなげることを目的に実施。

配布件数：69世帯 ※苗を一人10株（プランターの場合は4株）

訪問（配布）：民生委員、自治会長

(3) 母子・父子福祉事業

① 嘉手納町母子寡婦福祉会・NPO運営支援

NPO法人嘉手納町母子寡婦福祉会が継続安定した運営が行えるよう、必要に応じた支援等を行う。

3. 社会福祉施設（福祉サービス事業者）支援協働機能

(1) 嘉手納町地域活動支援センターていんがーらの運営（受託事業）

障がい者の自立支援と社会参加を促進する目的で、町の受託事業として地域活動支援センターを運営した。

開設日：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

定員：35名

利用者：継続37名、退所4名、体験6名

場所：総合福祉センター1階

開設日数：230日（前年244日）

延利用数：1,788名（前年2,257名）

職員数：支援員3名、相談員1名



① 基礎的事業

利用者が安心していただける居場所を提供し、生活リズムを整える。生産活動により就労への向上心、レクリエーション等自主的な活動及び地域住民や他団体との交流を図る。

また、利用者の買い物、食事、生活習慣等の日常生活に即した課題に対する個別的な支援や指導などをおこなう。

② 強化事業

No	事業の種類	事業内容	件数
1	個別支援計画	利用者の意向、適正、障害の特性その他の事情を踏まえた計画を作成し、これに基づき利用者に対してサービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施する。	42
2	相談支援事業	障害のある方やそのご家族などから様々な相談に応じ、必要な情報の提供、助言、福祉サービスの利用支援、関係機関との連絡調整などを行うことで、その人らしく生活が送れるよう支援する。	149
3	啓発活動	障害のある方に対する理解を深めるため、地域の祭りや行事等への参加を行う。 ※コロナウイルス感染症拡大防止による活動自粛	0

4. ボランティアセンター（ボランティア活動支援）

ボランティアセンターを中心としたボランティアの養成と育成、また活動推進を目的として下記の事業を実施した。

(1) 福祉教育の推進

① 福祉教育協力校助成事業

※コロナウイルス感染症により活動ができず助成無し。

② 福祉教育推進助成事業

※コロナウイルス感染症により活動ができず助成無し。

③ 小学生ボランティアサマースクール

※コロナウイルス蔓延防止のため中止。

④ いもっ子サマースクール（読谷村社協共催）

※コロナウイルス感染症により活動ができず、冊子の配布に内容を変更。

1985年よりスタートした「いもっ子サマースクール」の歴史をふり返るとともに、事業の周知を図るための冊子を作成し、各学校へ配布した。

配布先	配布数
屋良小学校	5年生 36名、6年生 48名
嘉手納小学校	5年生 97名、6年生 102名
嘉手納中学校	全生徒 468名
嘉手納高等学校	全生徒 561名

(2) 学校・一般団体・企業への体験学習・研修への支援

(3) ボランティア支援事業

① 声のお便りサービス（地域生活支援事業参照）

② ボランティア広報誌

ボランティアや関係機関に対して町内の様々なボランティアに関する情報を提供することによりボランティア活動を支援し、ボランティア活動の広がりを図る事を目的とする。

発行回数：6回

③ ボランティア養成講座

※コロナウイルス蔓延防止のため中止。

④ ボランティア保険への加入促進

ボランティアが安心して活動できるよう、ボランティア保険への加入促進と掛金を負担した。

年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
ボランティア活動保険	218名	222名	214名
ボランティア行事用保険	6,525名	6,796名	6,861名
送迎サービス補償	-	100名	612名
福祉サービス総合補償	100名	96名	-

⑤ 24時間テレビ募金活動

※コロナウイルス蔓延防止のため中止。

⑥ 一人暮らし高齢者宅等清掃活動

※コロナウイルス蔓延防止のため中止。

(4) ボランティア団体助成事業

毎年、町内で活動するボランティア団体へ活動資金を助成し活動を支援した。コロナウイルス感染症の影響により団体の活動が制限されたこともあり、団体と調整し助成金の支給は無しとした団体もあった。

団体名	助成額
手話サークルかでな	0円
リーディングサービスあいあい	30,000円
手話サークルノビルの会	0円
計	30,000円

(5) ボランティア活動拠点整備

ボランティアセンター（利用回数34回・利用延人数163名）

ボランティア（個人・団体）登録及び斡旋

登録状況：ボランティア団体登録数 24団体（620名）

個人ボランティア登録数 2名

### III. 福祉サービス利用支援部門

1. 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）

認知症高齢者や知的・精神障害者の方の福祉サービスの利用援助や金銭管理、印鑑・通帳などの書類の預かりを行う事業を実施。【実施主体は沖縄県社協】

◇生活支援員：1名（活動者数1名）

◇利用者：3名（新規契約1名）

2. 生活福祉資金貸付事業

低所得者や障がい者または高齢者に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進など安定した生活が送れるようにする事を目的とする。令和2年度においては、令和2年3月より始まった特例貸付への対応を引き続きおこなった。

年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談件数	801	33	21
貸付件数	604	3	0
貸付金額(円)	232,646,000	1,314,000	0

貸付内訳：福祉資金0件、特例貸付604件

#### 特例貸付件数内訳

貸付種類	件数	金額(円)
緊急小口資金	269	50,870,000
総合支援資金	217	116,826,000
総合支援資金(延長)	87	48,000,000
総合支援資金(再貸付)	31	16,950,000
計	604	232,646,000

## IV. 在宅福祉サービス部門

### 1. 高齢者等食の自立支援事業(配食サービス・町受託事業)

日常生活に支障のある在宅高齢者に対し、給食サービスを通して食生活の改善と健康増進を図るとともに、安否確認など高齢者の自立と質の良い生活が送れるよう支援した

実施日：月曜日～土曜日 週6日(台風、元旦除く)

配達員：1日2名(登録3名)

調理：沖縄県高齢者協同組合 配彩ナビィー

料金：普通食 480円(内、個人負担250円)

特別食 500円(内、個人負担320円)

刻み食 600円(内、個人負担370円)

配食状況：年間7,402食(月平均616食)

利用者状況(令和3年3月末現在)

区	東区	中央区	北区	南区	西区	西浜区	合計
登録者	17 (14)	16 (14)	15 (11)	11 (12)	6 (3)	18 (12)	83 (66)
利用者	13 (9)	10 (9)	7 (7)	6 (5)	4 (1)	14 (9)	54 (40)
休食者	2 (4)	5 (4)	7 (4)	5 (7)	2 (2)	2 (2)	23 (23)
入院者	2 (1)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	6 (3)

### 2. 地域介護予防活動支援事業(ミニデイサービス・町受託事業)

各区を単位としてコミュニティセンターを拠点に在宅の高齢者や身体障害者などの要援護者に対し、健康で生きがいのある生活づくりができるよう、民生委員、自治会、ボランティア、関係機関の協力を得て実施。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、コミュニティセンターでの活動がほぼ実施できなかった。

・助成金：435,000円×6地区=2,610,000円

・各區別実施日数及び利用者延べ人数等

推進地区	開催日	利用延べ人数	協力員延べ人数	開催数
東区がんじゅう会	毎月第2水曜日・第4金曜日	0	0	0
中央区あしびな一会	毎月第2月曜日・第4月曜日	14	16	1
北区百の会	毎月第2木曜日・第4木曜日	13	11	1
南区かりゆし会	毎月第2火曜日・第4火曜日	0	0	0
西区ゆんたの会	毎月第3水曜日・第4水曜日	10	7	1
西浜区ことぶきの会	毎月第1火曜日・第3火曜日	13	7	1
計		50	41	4

### 3. 介護用品貸与事業

在宅療養者へ車イスの貸出しを行い、在宅介護支援と介護者の負担軽減を図った。

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
貸与件数	31件	37件	29件

### 4. 放課後等デイサービス事業所の運営（わくわくクラブあすなろ）

学校通学中の障がい児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより、学校教育と相まって障がい児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを目的に実施する。また、ことばの発達の遅れを持つ子どもを対象に言語訓練を実施する。

### 5. 児童発達支援事業所の運営（わくわくクラブあすなろ）

未就学児を対象とした事業であり、基礎的な生活習慣、小集団での過ごし、コミュニケーション能力の向上等を目指すために実施する。また、ことばの発達の遅れを持つ子どもを対象に言語訓練を実施する。

・わくわくクラブあすなろ実績内訳

事業名	職員	定員	登録児童 (前年度)	開所日数	利用実績 (前年度)
放課後等デイサービス事業	7名 (兼務)	8名	24名 (24名)	231日	延べ1,782名 (2,151名)
児童発達支援事業		2名	5名 (7名)		延べ126名 (213名)

※ 登録内訳 令和2年度 登録人数 28名（嘉手納町 19名・読谷村 9名）